

眞平新報

2026年(令和8年) 3 March

発行者 眞平
http://s-shimpei.com/
f X



三連休と静岡行き

三月後半は春休みの始まりだが、不登校の子にはあまり関係なく、来月になれば自動的に5年生に進級するという、なんとも言えない年度末。



妻が借りてきたプロジェクターで「フラワーハウス」を観賞(32インチモニターを普段使っているため家庭で手軽な大迫力)

大画面でBTSの再始動ライブやドラマやアニメを見たりスプラトゥーンをプレイしたりして、ほとんどの時間を家族で家で過ごしていた。多くを望まず過す三連休にもう慣れてしまった我が家である。

一方、連休翌週は毎年恒例となっている義妹家族の住む静岡に、27、28日の二泊の予定で妻子で遊びに行き、妻が借りてきたプロジェクターで「フラワーハウス」を観賞(32インチモニターを普段使っているため家庭で手軽な大迫力)。

崎陽軒弁当の昼ごはん おかず交換の楽しみ

横浜の生んだ名作弁当(焼売をはじめ魅力的なおかずの数々)



最近お昼ご飯に崎陽軒のシウマイ弁当と炒飯弁当を買って帰ることが多い。主に子どもがシウマイで私が炒飯を食すのだが、お互いのおかずを交換しながら食することが多い。メインの焼売はもちろんだが、鮭の漬け焼きや付け合せの節煮やあんずなんかはなかなか美味い。



崎陽軒といえば陶器製の醤油差し「ひょうちゃん」が有名だが、弁当には入っていないので残念だ。

70周年記念ひょうちゃん(残念ながら弁当には入っていないので残念だ)

連休中にスマートフォンをクリア(エンドクレジット画面)



私の方は相変わらずの土日出勤と休業前の引き継ぎ業務で、今年も静岡行きは叶わなかった。妻も不在の三日間だが、自由になる僅かな時間は結局いつも通り、家事に消えていく。とにかくまあ、多くを望まず過す生活は、社会情勢の面でもまだしばらくは続きそうである。

歩きスマホは駄目絶対 激痛の地獄の道のり

4日前、右脇腹の激痛。会社に呻きながらの地獄の道のりで、乗換駅では歩きスマホの女性を避けようとして激痛が走り絶叫。驚いた女性は走り去り、私は痛みでその場に立ち尽くした。歩きスマホは駄目絶対。新たに生えてきたマメツタの胞子葉が健やか(記事とは関係ない)

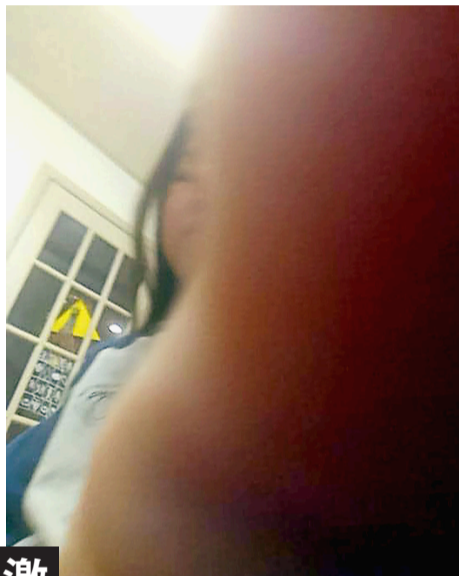


道の中で、乗換駅では歩きスマホの女性を避けようとして激痛が走り絶叫。驚いた女性は走り去り、私は痛みでその場に立ち尽くした。歩きスマホは駄目絶対。新たに生えてきたマメツタの胞子葉が健やか(記事とは関係ない)

見守りの先に - 不安の在処

現在、不登校児対応の一般的なセオリーとされるのが、子どもに対して強制や強要になるようなことはできる限り避け、子ども本人が能動的かつ自発的に行動できるまでとにかく見守るしか無い、というものである。うちの子どもの様子を

この画像送信を最後に連絡が途絶える(訪ねてくれた友だちの家に遊びに行っていたそう)



激撮 一時間音信不通



夜はハイトリートの羽が見えない(フリーが続きそう)

9日、妻と入れ替わりで帰宅する予定が、帰りの電車が連休になってしまい、空白の時間ができてしまった。その間、子どもには一人で留守番して貰い、どうにか迂回して帰宅したのだが、家には子どもがいなかった。慌てて連絡取ろうとしたものの、通信の不良で繋がらなかつた。話し損ねた画像が送信されてきた。その後一時間音信不通が続いた。友だちの家から元気に帰宅した。

だが、家には子どもがいなかった。慌てて連絡取ろうとしたものの、通信の不良で繋がらなかつた。話し損ねた画像が送信されてきた。その後一時間音信不通が続いた。友だちの家から元気に帰宅した。

2026. 3. 28

健康第一であることが本当に大事なことだと思ひ知らされます。というわけで、いよいよよ来月から介護休業となるわけですが、給与保証がされるかどうかは事後申請となるため今の時点で分らず、妻の現在の状況次第では休業期間がどうなるかも分からないので、分からないことだらけの休業となりそうです。まあしかし、これも来たるべき親の介護の予行練習と思つて、しっかり取り組もうと思つています。▼休業期間中は、日常的な家事と子どもの生活介助や心身ケアが主だった仕事になりますが、時間がはたっぷりありそうなので、将来のことも考えて、経済的実利を兼ね備えるようなことに挑戦できればいいな、と思つています。あと、休業中の眞平新報の発行は極めて難しく思うので、こちらも休業に入る前にどうするか考えておかないといけません。忙しくなりそうだし!

油汗にまみれてようやく帰宅し、その足で掛かり付け医へ。問診、触診、レントゲン、エコーの結果は異常無し。いつも通り神経痛の疑いとの診断だった。

夜のバドミントン 温泉土産巡礼

月曜日の一日の日曜日。夜、先月訪れた新潟の温泉旅行のお土産を渡し、夜の散歩がてら家族で子ども友だちの家を訪れた。友だちもちょうど夕食を食べ終えたところで、少し外で遊ぶかということになり、夜の路上でバドミントンがはじまった。

帰り後すぐに痛み止めを服用して横になると、疲労と副作用により翌朝まで眠り込んでしまった。その後もう日間、痛みが苛まれたのだった。健康第一だ。



最近流行っているウッドクラフト(聖性がクラフト系は真)

眞平御免

来月からの介護休業に入るための準備が色々あるにも関わらず、今前半は右脇腹の神経痛にかなり悩まされ、痛みが軽くなってきたと思つたら今度は喉の痛みに苛まれました。何をしてもまず健康第一であることが本当に大事なことだと思ひ知らされます。というわけで、いよいよよ来月から介護休業となるわけですが、給与保証がされるかどうかは事後申請となるため今の時点で分らず、妻の現在の状況次第では休業期間がどうなるかも分からないので、分からないことだらけの休業となりそうです。まあしかし、これも来たるべき親の介護の予行練習と思つて、しっかり取り組もうと思つています。▼休業期間中は、日常的な家事と子どもの生活介助や心身ケアが主だった仕事になりますが、時間がはたっぷりありそうなので、将来のことも考えて、経済的実利を兼ね備えるようなことに挑戦できればいいな、と思つています。あと、休業中の眞平新報の発行は極めて難しく思うので、こちらも休業に入る前にどうするか考えておかないといけません。忙しくなりそうだし!

水曜生まれの子

短編の名手として名高い著者の三冊目の短編集。集録されたものの物語も、事象が曖昧なまま、現在と過去が入り乱れるような語りの中に、「喪失」や「孤独」や「行き違い」といったテーマが色濃く鮮明に描かれるのだが、そのひとつひとつに著者の過酷な境遇や体験が重なり、どうしてあんなに「水曜」が生まれつつあるのか。

偶偶放浪記

絵画、音楽、漫画など多岐に渡って才能を発揮する著者による、漫画と文章で綴る黄昏の放浪記。主人公である著者自身の興味や方向や妙な大胆さも面白いのだが、「モリアタ」と「ツポールズ」といったデータラメでヘンテコな名脇役たちも魅力的だ。生活の痕跡が色濃く滲み出ているにも関わらず、遺棄されてしまっているような場の力に吸引されていく独特な放浪記だ。

記憶するチュウリップ、譲りあうヒマワリ

332頁 ゴーイ・シユランガー著 植物行動学 書籍

光と糸

2025年 210頁 ハン・ガン著 ノーベル賞関連の文章といくつかの詩と庭の記録が集録された一冊。文中に引用される『別れを告げない』の著者のインタビューの中で、一瞬でもいいから死者たちを「生」の側に越境させることができれば、というように一文があり、そうした真摯な覚悟と文学の可能性を必死に検討した結果、あの傑出した一冊が生み出されたのだと知り、思わず慄いた。

今月の視聴覚 記録と記憶

ご意見・ご質問・ご要望、寄稿・投稿・広告掲載(無料)などは各種SNSからお問い合わせ下さい。

193頁 カシワイ作品集 2025年 カシワイ画 書籍

ドラマ 2026年 130分 This is I (ディスイズアイ) 望月 春希 主演

307頁 水曜生まれの子 2025年 イーユン・リー 著 書籍

書籍 2024年 182頁 偶偶放浪記 小指 著

332頁 ゴーイ・シユランガー著 植物行動学 書籍

2025年 210頁 光と糸 ハン・ガン 著